

# 特別支援学校（病弱教育）小学部6年 社会 「土偶」作りで取り組む縄文・弥生・古墳時代の歴史～「ものすごい図鑑～文化財編『遮光器土偶』」をタブレットで活用した主体的な学び～

東京都立光明学園 病弱教育部門 主任教諭 川口 尚人

## 【実践報告の概要】

NHK for School の「ものすごい図鑑文化財編『遮光器土偶』」の、“どうやってつくった？”を視聴して、同じように土偶を作ってみる活動を行った。縄文・弥生時代を知るために、土偶作りの実体験を通して当時の人の気持ちを理解できたと考えた。タブレットで動画を繰り返し見たり停止させて見たりして制作の参考にした。（7時間扱い）

【キーワード】 #遮光器土偶 #鳥獣戯画 #埴輪 #縄文土器 #弥生土器

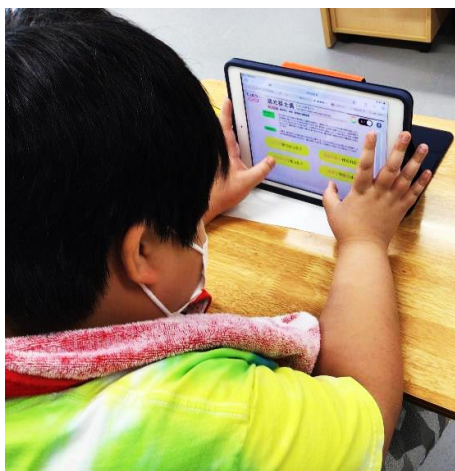
## 【取組の具体】 準ずる教育課程小学部6年社会(歴史)

単元名「国づくりへの歩み」

本時7/7『土偶作りに挑戦しよう～遮光器土偶～』

**ねらい** 動画を見て土偶作りに挑戦する。そこから当時の人の気持ちを理解する。

1. 土偶についての振り返り。
  - ・前時で見た「ものすごい図鑑文化財編『遮光器土偶』」思い出し、実際に粘土で土偶を作ってみる学習であることを確認する。
2. NHK for School「ものすごい図鑑文化財編」『遮光器土偶』“どうやってつくった？”を視聴する。
  - ・各自のタブレットで個別視聴する。
3. 動画を見本に土偶を作る。
  - ・動画を停止したり繰り返したりしてよく観察する。
4. 本時の学習の振り返り、まとめ。
  - ・本時の活動を振り返り、良かったところ・難しかったところと感想を発表し、作品を展示する。



「ものすごい図鑑文化財編」タブレット視聴



見本を見ながら土偶作り

## 【活用番組と実践者による番組分析】

活用サイト「ものすごい図鑑文化財編」

「ものすごい図鑑」の理科編は好評でレパートリーも多いが、文化財編はまだ3つしかない。しかし、元々の理科編同様に360度あらゆる角度から、それも超拡大で観察することができる。内部の様子も限なく見ることができる。

- このような実際の国宝を拡大したり近づいたりして1人でじっくり限なく見ることは不可能である。なので、非常に貴重な経験になると考える。
- サイト内には制作過程だけでなく歴史や保存場所の説明などが動画で確認できるようになっており、個別の調べ学習に適している。
- 陶芸家が作品を復元している様子を見ることができるとも貴重な映像である。

## 【本実践における工夫点】

主体的な活動の保障

- ・“土偶”というキーワードをもとにいろいろな調べ学習をした後、まとめとして土偶作りをする。
- ・基本的な作り方は皆同じなので、“土偶”“土器”“埴輪”の中から選択し、自分が作りたいものを1つ作る。(焼かなくても焼いた風合いになる粘土を用意。)

webサイトの効果的な活用

- ・「ものすごい図鑑文化財編」はそれ自体一見の価値があるが、サイト内の説明が動画を交えてわかりやすい。
- ・アクティブ・ラーニングに適している。児童の実態に合わせて、授業に合わせたワークシートを作成する。

体験学習を通して当時の人々の生活を理解

- ・土偶、土器、埴輪などを実際に作り、当時の人々の生活をイメージしたり共感したりすることで、教科書だけでは理解しにくい児童もスムーズに学習に入っていくことができるようにする。

## 【本実践の成果と課題】

- 体験学習を通して当時の人々の生活を理解する参考になった。
- 歴史が苦手な児童にもイメージがしやすく、主体的な活動に抵抗感なく入ることができた。
- 意外と土偶作りは難しく、見本動画のように実際には簡単に作れないことがわかった。そのため土偶作りにも高度な技術が必要だったことが分かった。